

2007年2月 パリ

ユーラーヘルメス、2006年純利益 326百万ユーロで 14%の上昇

2007年2月16日、ユーラーヘルメス取締役会の *directoire* は 2006年の決算結果を発表しました。

主要数値

ユーロ(百万単位)	2006	2005	増減額	増減率 (%)
売上高	2011,8	1927,4	84,5	4,4%
通常の営業収益 (営業外収益を除く)	340,1	318,3	21,8	6,9%
営業外収益 (金融費用を除く)	149,8	128,4	21,4	16,7%
経常利益	489,9	446,6	43,3	9,7%
最終連結決算	326,1	286,1	40,0	14,0%
AZ コンバインド・レシオ (損害率と事業費率の和) (1)	77,0%	72,6%		
ユーラーヘルメスコンバインド・レシオ (service margin 含む) (1)	67,3%	64,4%		

1. 営業活動

ユーロ圏では、ユーラーヘルメスの売上高増加はフランス(6.9%)、イタリア(5.8%)、ベネルクス諸国(4.2%)と北欧諸国(6.3%)の国々での安定した成長によって、好調でした。

ドイツでは、ユーラーヘルメスは予測されたとおりに内部への再保険契約(inwards reinsurance)を打ち切り、これが2006年の売上高を2.6%減少させました。

イギリスでは営業活動は5.6%低下した。保険料はとて低い倒産率のため、やむなく減少しました。

アメリカでは営業活動は上昇トレンドを上昇し続けて2005年に比べ総収入は7.5%上昇しました。(同一の連結比率と為替相場では9.7%上昇。)

新規進出市場(中央と東ヨーロッパ、南ヨーロッパ、ラテンアメリカとアジア)では収益成長率は非常にダイナミックで、売上高61百万ユーロで2005年に比べ43%以上の上昇が見られました。これらの市場はグループの連結総収入の10%を占めます。

(1) AGF/Allianz などとユーラーヘルメスの多数株主と保険市場によって発行されている数値と統一を図るために、ユーラーヘルメスは2つの調整を行いました。

- ・ 保険料払戻は現在売上高から引かれ、保険金支払としては扱われません。
- ・ 同様に、non-technical charges と事業資産に関連するもの以外の総収益はコンバインド・レシオ(損害率と事業費率の和)に含めておりません。

比較する目的で、2005年に発行した数値は以上の変更に伴い修正して再記述しています。

地域別の総収益（実収保険料に基づく）

ユーロ(百万単位)	2006年 12月31日	2005年 12月31日 (1)	2005年 12月31日 (2)	2005年からの 増減率	2005年からの 増減率 (pro forma ^-ス)
ドイツ	700.1	718.7	714.8	-2.6%	-2.1%
フランス	383.1	358.5	358.5	6.9%	6.9%
イタリア	225.7	213.3	213.3	5.8%	5.8%
イギリス	200.4	212.2	212.6	-5.6%	-5.7%
アメリカ	138.8	129.1	126.5	7.5%	9.7%
ベルギー	74.5	72.8	72.8	2.3%	2.3%
オランダ	47.8	44.5	44.5	7.4%	7.4%
北欧諸国	40.9	38.5	38.7	6.3%	5.7%
主要国の合計	1811.3	1787.6	1781.7	1.3%	1.7%
ユーロ圏合計	1472.2	1446.3	1442.6	1.8%	2.0%
新規進出市場の合計(3)	200.5	139.8	159.7	43.4%	25.6%
グループ合計	2011.8	1927.4	1941.3	4.4%	3.6%

注釈： (1)保険料払戻控除後のIFRS売上高 pro forma ベース

(2)売上高から払戻保険料を引いた後の pro forma 数値、通貨換算格差と連結範囲 の変化に対応して調整しており、ユーロヘルメスの総収入は 2006 年全体の平均為替交換比率を利用して計算されています。

(3)ポーランドの保険会社の拡大を考慮した上、その総収入を換算するに当たっては 2006 年に見直されました。比較が可能となる土台を作るために、前年のデータは pro forma で再表記しあります。

## 2.営業利益

2006 年のコンバインド・レシオ(損害率と事業費率の和)は 2005 年の 64.5%から 67.3%になりました。(\*)

前年の未払い保険金(run-offs)に関しては好調な 1 年ですが、この上昇の原因には相反する 2 つのトレンドがありました。

- ・ 44.8%から 49.2%への損害率の上昇。これは、前年の未払い保険金(run-off)減少が主な原因です。
- ・ グループの再保険機構の最適化と強化により生産性は絶え間なく上昇し、純費用比率が 19.7%から 18.1%へと下降しました。

2006 年の営業外収益の上昇の一因は投資の総収入の上昇(6.9 百万ユーロ)ともう一因は、合計して 17 百万ユーロの金融資産を主とする現金化したキャピタルゲインによるものです。

金融資産の市場価値は 2005 年 12 月 31 日の 3,170 百万ユーロから 3,349 百万ユーロへと上昇し、242 百万ユーロの上昇が見られました。この上昇は主に営業 からのキャッシュフローの再投資によるものでした。この現金化にもかかわらず、現金化しなかったキャピタルゲインは 233 百万ユーロと比較的安定しており、投資ポートフォリオの7%を占めています。

引受業務と財務収益の好成績により、489.9 百万ユーロの営業利益を生み、9.7%の上昇が見られました。

(\*)コンバインド・レシオの定義は 2006 年に改正されました。それによって、事業費率には *non-technical charges* は含まれず、損害率には返還保険料は含まれません。二つの比率 の公分母である返還保険料は保険料から差し引かれます。2005 年の合算比率に対するこの改正の影響は-3.2 ポイントです。

### 3. 純利益

財務費用および税金の計算後、ユーラーヘルメスの純利益は 3 億 2610 万ユーロとなり、2005 年に比べて 14% の増加が見られました。一株あたりの利益は 2005 年の 6.74 ユーロに対して、7.51 ユーロとなりました。

### 4. 配当金

一株あたりの利益 7.51 ユーロを基に、ユーラーヘルメスは 2007 年 5 月 9 日に行われる年次総会にて普通株式 1 株あたりの配当金を 4.00 ユーロにすることを提案する意向です。これは 2005 年の配当金より 14% の増加です。配当金支払い日は 2007 年 5 月 11 日となります。

### 5. 株主資本

2005 年末の株主資本 17 億 4490 万ユーロと比較すると、今年のグループ株主資本は合計 19 億 1150 万ユーロとなり、9.6% の成長および 18.0% の株主資本利益率を示しており、ユーラーヘルメスの中期目標を上回りました。

### 6. 2007 年の見通し

ユーラーヘルメスは自信を持って 2007 年の業績に期待をしています。

ユーラーヘルメスグループは世界の信用保険市場において首位の地位を築くとともに、保証保険や保証分野においてもリーダー的地位を確保しております。世界 48 カ国に 5,500 人の社員を擁し、幅広い与信管理サービスを提供しています。2006 年のグループ売上高は 20 億ユーロです。

\*\*\*

ユーラーヘルメスグループは AGF の子会社として、またアリアンツグループの一員として、ユーロネクスト・パリ証券取引所に上場。スタンダード&プア - ズより AA- の格付けを取得しております。

#### 本件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

ユーラーヘルメス信用保険会社・日本支店 広報担当 TEL: 03-3538-5403 メールアドレス: mailbox@eulerhermes.co.jp  
Euler Hermes Press / Investor contacts Euler Hermes Group:  
Investor relations 33 (0)1 4070 50 31 benoit.desressonnieres@eulerhermes.com  
Press realtions Bettina Sattler 33 (0)1 40 70 8141 [bettina.sattler@eulerhermes.com](mailto:bettina.sattler@eulerhermes.com)

#### **These assessments are, as always, subject to the disclaimer provided below.**

##### Cautionary Note Regarding Forward-Looking Statements:

Certain of the statements contained herein may be statements of future expectations and other forward-looking statements that are based on management's current views and assumptions and involve known and unknown risks and uncertainties that could cause actual results, performance or events to differ materially from those expressed or implied in such statements. In addition to statements which are forward-looking by reason of context, the words 'may, will, should, expects, plans, intends, anticipates, believes, estimates, predicts, potential, or continue' and similar expressions identify forward-looking statements. Actual results, performance or events may differ materially from those in such statements due to, without limitation, (i) general economic conditions, including in particular economic conditions in the Allianz Group's core business and core markets, (ii) performance of financial markets, including emerging markets, (iii) the frequency and severity of insured loss events, (iv) mortality and morbidity levels and trends, (v) persistency levels, (vi) the extent of credit defaults (vii) interest rate levels, (viii) currency exchange rates including the Euro-U.S. Dollar exchange rate, (ix) changing levels of competition, (x) changes in laws and regulations, including monetary convergence and the European Monetary Union, (xi) changes in the policies of central banks and/or foreign governments, (xii) the impact of acquisitions, including related integration issues, (xiii) reorganization measures and (xiv) general competitive factors, in each case on a local, regional, national and/or global basis. Many of these factors may be more likely to occur, or more pronounced, as a result of terrorist activities and their consequences.

*The matters discussed herein may also involve risks and uncertainties described from time to time in Allianz AG's filings with the U.S. Securities and Exchange Commission. The Group assumes no obligation to update any forward-looking information contained herein.*